
魔法少女リリカルなのは～とある魔法と転生者

ZELDAMARIO

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔法少女リリカルなのはとある魔法と転生者

【Nコード】

N3219Z

【作者名】

ZELDAMARIO

【あらすじ】

神さまのせいで死んでしまった桜井 神羅転生した神羅はリリなの
の世界で原作崩壊させながらもいろいろとする物語

星と雷と夜天と月の始まり

ある日1つの事故で死んでしまった主人公本当は神様のミスで死んだことを知りお詫びとして魔法少女リリカルなのはの世界に転生、彼女いない歴13年の主人公が転生前のアニメ知識とチート能力を駆使して原作キャラとラブコメやフラグ回避もしかすると自主規制をします

プロローグ

少年は少女を助けるため平和を捨てた

少女は婚約者でもある少年を助けたらしい

母に叩かれても全身で受け入れる少女

足が麻痺して車椅子がないと動けない少女

かずかずの物語でつくられた神様の奇跡システムなんて原作崩壊してもその幻想をぶっ殺すby主人公

星と雷と夜天と月の始まり（後書き）

駄文ですがよろしく願います

たくさんの人の能力を使うかもしれないので使用許可がOKならば感想等で教えてください

第1話転生（前書き）

私は原稿をノートなどに書いてから投稿しているので投稿がどうしても遅れてしまいますのでご注意ください

第1話転生

俺の名は鈴村神羅単刀直入に言おう俺死にました

ある日中学2年の12月ある事故がきっかけで死んだのですその事故は偶然通りかかった俺に鉄骨が降り注いだのですしかも5本気がついて回避しようとしたが体がというよりもアキレス腱が急に切れて動けなくなっていた俺は思った(神よこれは俺に向かつてのいじめか?)とそして俺は鉄骨の下敷きになった「ん???」俺は真っ白な世界で横になっていた(あれかよくある転生か)

「起きました?」

そこには少女が立っていた

「あんた誰?」「どうもすみませんでした」「はあ?」

少女がおれに土下座した

「私、神と呼ばれている者です

実は私のミスで

あなたが死んでしまい

あなたに謝罪しようということ

今に至るわけです」

「謝罪してくれているから許すけどこれからどうすればいいんだ?」

「お詫びに魔法少女リリカルなのはの世界に転生しようと思っています」

「リリなのマジで?」神は頷く「はい」

「行きます!」「能力をどうしますか?」

「複写能力でお願いします」「わかりました」

そして俺は身体能力をMAXにし

神に道具について話していた

「能力に必要なやつだけがいい」

「わかりました魔力量ですが」

「Fでたのむ」

「珍しいですね」

他の人達はみんなEX+なのに」

「他は他、俺は俺だ」

「なるほど」

「まあ

全ての行動に魔力負荷をかけるけど」

神はその場でずっこけた

「こける理由はないだろ」

「いつてらしゃい」

「ちよおま落とし穴はあああああ」

「あつデバイス忘れてた、まっいつか」

そして俺は桜井神羅として転生した

第2話家族の謎？（前書き）

第2話から短くなります

第2話家族の謎？

どうも初めまして桜井神羅といいます

神の力で転生して約3年がたとうとしています
たった3年でも驚くことはたくさんありました

一つは幼なじみでもう一つは両親と母の家族に

しかもっとも驚いたのは体が半エンジェロイドということ

ピピピピ「起きなさい神羅起きないと女の子の服を」

ピツ台詞が終わる前に目覚まし時計が止まる「ちっ」母さん???

扉には女物の服を持った母の桜井イカロスがいた

現在AM4:00

俺は幼なじみの家と共有している道場に行く

「神羅おはよう」「おはよう兄さん」

道場には俺の兄桜井葵がいた

俺が素振り10回程度すると後ろから

「おはよう神羅」

と聞こえたので俺は聞こえた方向を向き「おはよう恭也兄」と言う
高町恭也幼なじみの高町なのは兄

この日

恭也兄が俺にO?H?A?N?A?S?H?Iを仕掛けてきた

「永全不動八門御神真刀流高町恭也」

「永全不動八門桜井流崩天術桜井神羅」

「「参る」」

「葵君おはよう」「おはよう」

「お兄ちゃん神羅君となにやってるの?」

「O?H?A?N?A?S?H?Iだとさ」

「お兄ちゃん私の婚約者が神羅羅なのが嫌なのかなあ」「多分」

「恭也兄神速は卑怯だよ」

「なのはは渡さん」

「桜井流居合い奥義雷光一閃」

「ぐああああああ」バタツ

雷光一閃 剣に雷をまわせ敵を切り裂く

「神羅君おはよう」「おはようなのは」

「「誕生日おめでとうなのは（神羅君）」」

「神羅」なのはちゃんいくわよう」「はーい」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3219z/>

魔法少女リリカルなのは～とある魔法と転生者

2011年12月15日16時55分発行